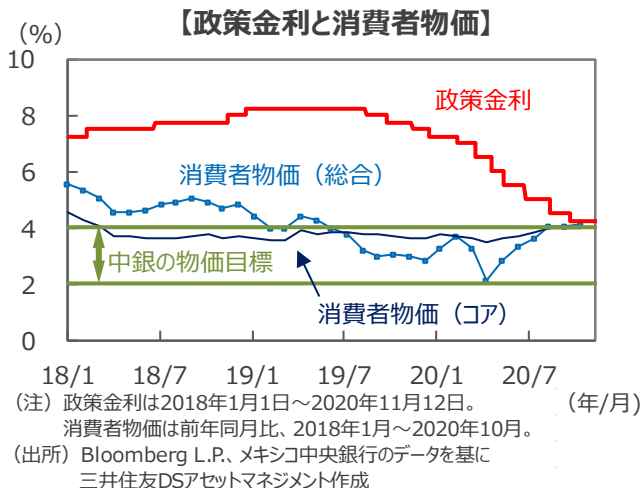




今日のトピック メキシコ、政策金利を予想外に据え置き メキシコペソは市場のリスク選好で堅調推移

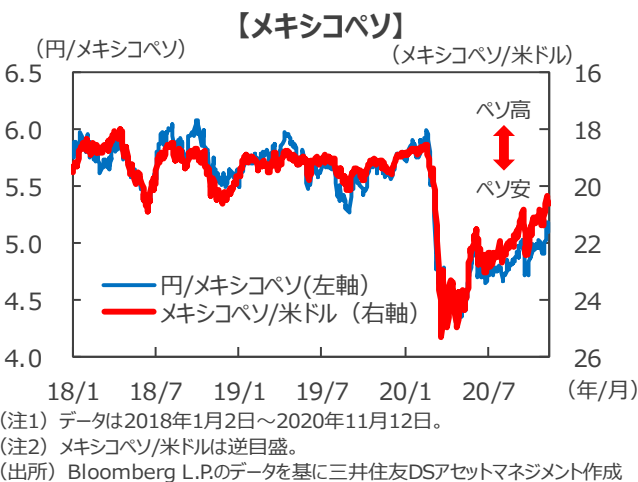
ポイント1 政策金利を4.25%に据え置き

- 11月12日、メキシコ銀行（中央銀行）は金融政策決定会合を開催し、政策金利を据え置きました。市場では利下げが予想されていましたが、メキシコ銀行は、今回はインフレの軌道が目標に収束することを確認するために一旦利下げを休止した、と述べています。
- 10月の消費者物価指数は、前年同月比+4.09%と、中央銀行の政策目標上限（4%）を3カ月連続で上回りました。中央銀行は、物価予想を引き上げたものの、1～2年先の予想インフレ率は3%程度との見方を維持しており、今後の金融政策は、インフレ率の動向如何としています。



ポイント2 景気回復の足取りは重い

- 発表された9月の鉱工業生産は前月比0%と横ばいで市場予想を下回るなど、メキシコ経済の回復の足取りは重いままです。メキシコの米国製造業との結びつきは強く、米国景気のリバウンドに伴い見通しは改善していますが、国内景気の低迷が産業全体を圧迫し続けています。
- 弊社では、今年の実質GDP成長率見通しを▲9.3%、2021年は同+2.5%と予想しています。メキシコは財政を抑え気味に運営しており、2021年の見通しを市場予想に比べ慎重にみています。



今後の展開 メキシコペソは市場のリスク選好の動きを背景に上昇

- メキシコペソは5月以降、世界的な景気回復期待の高まりを背景に反発し、10月は対米ドルで約4%上昇しました。新型コロナの感染再拡大などからリスク回避的な動きが強まれば、上値が抑制されるとみられますが、世界経済は各国・地域の積極的な金融・財政政策によって緩やかに回復すると考えられ、メキシコペソは今後も底堅い推移が見込まれます。また、メキシコ国内の物価上昇率は緩やかに低下すると見込みます。

ここも
チェック!

2020年10月22日 ラ米通貨の優等生、メキシコペソは堅調推移
2020年 9月28日 メキシコ銀行は11会合連続の利下げを実施

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。